



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2017年2月 No.417
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『笑顔と感謝の1年に』 国際会長 : 『私たちの未来は、今日から始まる』 アジア地域会長 : 『ワイズ運動を尊重しよう』 西日本区理事 : 『ワイズ魂で、更なるワイズの活性化を!』 中西部部長 : 『世界をみつめ、地域とあゆむ』	会 長 : 藤井 大祐 副会長 : 三浦 直之 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 松浦 和子 Y連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of February

神はわたしたちに、新しい契約に仕える資格、文字ではなく
 霊に仕える資格を与えてくださいました。文字は殺しますが、
 霊は生かします。… (中略) …
 しかし、主の方を向き直れば、覆いは取り去られます。

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 3章6—16節)

分断から融合へ

坂本 哲朗

1月に第45代アメリカ合衆国大統領にドナルド・ジョン・トランプが、就任した。米国社会に走る断層の先端は海を越えて、欧州やアジアにも影響を及ぼし、米国発の分断に直面するのではないかと不安が過る。1630年代、ジョン・ウィンスロップ(マサチューセッツ湾植民地知事)が著した、『キリスト者の慈善の模範』の中には、「我々は、全ての人々の目が注がれる丘の上の町とならなければならない」と書かれている。

このような伝統的な考え方のアメリカ、私が少年時代に憧れを抱き、高校時代、1年間過ごした良きアメリカはなくなるのか? 我がクラブは、ハワイのヌアヌクラブとの長年の交流を続けている。この時期だから、今まで以上に交流を通じて、草の根での小さな融合だけは、絶やしてはならないと考えます。今年にはハワイのヌアヌクラブに訪問したいと思います。

(次号は岡本剛介さんです)

February Club Meeting

『TOF/CS/FF』

2月第1例会

日 時 : 2017年2月15日(水) 18:45~20:30

場 所 : 大阪YMCA会館403号室

司会 : 坂本 千春メネット

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 開会 | 藤井 大祐 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 船戸 輝久 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 藤井 大祐 会長 |
| 5. 今月の強調月間 | 藤井 大祐 会長 |
| 6. ティーセレモニー | 一同 |
| 7. 卓話「SDG 持続的発展目標」 | 内山 雅文・大阪Y土佐堀館長 |
| 8. オークション | 岡本 剛介 君 |
| 9. 誕生祝い/連絡・報告 | 一同 |
| 10. 閉会 | 藤井 大祐 会長 |

※2月例会のお茶セレモニーでは、お抹茶と和菓子が出ます。
 会費 500円。その他CS目標額は当選切手12シートか
 現金 1,500円。ワンコイン5千円。

お誕生日 : 1月=中村幸枝メネット、三浦、中村茂、藤井の各メン
 2月=石津メン

2月第2例会

日時 : 2017年2月22日(水) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

1月		種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	21名	メ ン	12名	7名	1月	0円
例会出席	14名	メネット	1名	0名	現 金	
うちメーキャップ	0名	ビジター	0名	0名	累 計	
出席率	76.2%	ゲ ス ト	0名	0名	切 手	
		合 計	13名	7名	現 金	
					Og	
					0円	1月: 0円
					204g	オ-ｸｼｮﾝ: 5,400円
					0円	累 計: 229,179円

聖書を読む時、私たちは一句一句に拘って自分に都合の良い言葉を探すことがあります。しかし、キリストは、唯一の主である神を愛し、同時に隣人を自分のように愛することが律法の精神であり、「この二つにまさる掟はほかにない」（マルコ 12:31）と示されています。その律法の精神が全うできるように、神がまず私たちを愛し、私たちの鈍くなった心につけられた古い契約（=古い私、罪）の覆いをキリストによって取り除き、その神の愛によって霊に生きるものとしていただきました。都合の良い制度や習慣（文字）に拘って生きるのではない、神の愛に生かされた生き方を著書パウロは奨めています

（聖句選/コメント：船戸輝久）

（次号は角地正直さんです）

1月第1例会（中西部合同新年会）

と き：2017年1月21日（土）12:00～15:00

と ころ：大阪YMCA会館・ホール

寒いよく晴れた日、中西部合同新年会が土佐堀クラブのホストで行われ、90名が集まり新年を祝いました。当クラブからは、大村、松浦、三浦、山中、山田、藤原、藤井、芝田、中村茂の各メンと坂本メネット=写真=が参加しました。

第1部の開会式典で、西野陽一・中西部部長、松野時彦・大阪YMCA副総主事、岩本悟・西日本区理事の挨拶の後、

第2部では、佐野多由子（ピアノ）、長野昭子（ヴァイオリン）、田中良和（テノール）の3人の音楽家による演奏を楽しみました。ポップ・デュランの名曲「風に吹かれて」を聞いたたり、「みんなで手をたたこう」をみんなでレクするなど、工夫のこらされたプログラムでした。

演奏後、懇親会が始まり、日本酒の鏡開きのパフォーマンスが行われ、次期中西部長の大村肇メンによる乾杯で会食、歓談が始まりました。

いよいよ、大村メンを中心とする中西部会の到来と、さ来年の中西部会は、私たちのクラブがホストをすることになるという実感がわく例会となりました。

いよいよ今
年が始まる
ぞと、決意
を込めて乾
杯！



Club Activities January, 2017

About 90 club members from 9 clubs based in Osaka and guests from other districts gathered on Saturday, January 21 at the Osaka YMCA Hall to celebrate New Year to exchange greetings.

A total of 13 members and Y's menette of our club attended to make up the Jan gathering. Those attended were Masato Ishidu, Hajime Ohmura, Kouji Matsuura, Naoyuki Miura, Hideo Yamanaka, Takahiko Yamada, Sam Fujiwara, Chiharu Sakamoto, Daisuke Fujii, Mitsuo Shibata, Shigetaka Nakamura.

Following New Year's greetings made by DG Yoichi Nishino of Japan Mid-West District, Deputy GS Tokihiko Matsuno of Osaka YMCA, and RD Satoru Iwamoto of Japan West Region, we enjoyed the New Year Concert performed by three professional musicians, playing popular and classical music well matched with the New Year's atmosphere.

After the musical performance, we had an interesting barrel opening ceremony of Japanese sake by a guest of honor and RD, DG and other Y's executives.

We enjoyed luncheon with a variety of drinks, especially the Japanese sake that had just been opened fresh.

(Edited by Sam Fujiwara & Kan Tanikawa)

チャリティー・ボウリング 2位の快挙！

1月28日、桜橋ボウルで開催された「チャリティー・ボウリング大会」に、大村、何、三浦の各メン=写真=が参加。昨年の3位に引き続き、2位という快挙を成し遂げました。いよいよ来年は「優勝」の声の呼び声も大きいようです！



2016年12月、世界YMCA同盟（World YMCA スイス・ジュネーブ）企画の聖地旅行に参加しました。World YMCA の Outreach program です。

2016年12月19日に出発、12日間の旅でした。今回の参加者は12名。日本からの参加は私一人でした。今までにイスラエルを2回訪問していますが、今回は一味違うツアーを体験しました。パレスチナの滞在が長くなり、ベツレヘムでの宿泊が6日となりました。（写真、その1）

エルサレムに始まり、ナザレ、そして、ガリラヤ湖などイエスの足跡を訪ね、降誕節はベツレヘムで迎えました。ギリシャ正教の礼拝に出席しました。初めての経験です。

1948年に新生イスラエル国家が誕生。そこに住んでいたアラブ・パレスチナの人々は、現在のパレスチナ自治区（ヨルダン川西岸）に強制移動させられ、彼らは戦後“世界で最初の難民”となりました。1949年に設立された最大の難民施設 Dheisheh Refugee Camp は、ベツレヘムの南に位置しています。当初3,400人を収容した施設は、その後膨れ上がり、現在15,000人が居住しています。ここを訪問した経緯に後で触れます。

この新生イスラエルの誕生と共に、東エルサレムYMCAの活動が、始まりました。今日、東エルサレムYMCAは、アラブ・パレスチナ人を対象に東エルサレム、ベツレヘム、エリコなどの地で、若者の職業訓練プログラム中心の Rehabilitation Program を展開しています。海外のYMCAやODAなどの資金援助が大きな収入源となっています。日本のYMCAも、この職業訓練プログラム、そしてパレスチナ難民を支援しており、日本全国からの寄付が生かされています。

イスラエル政府は、現在ロシア、その他海外からのユダヤ人移住者を、パレスチナの占領地に入植させています。入植地近くに住むパレスチナの農民の家を訪れました。ベツレヘムの北西のWalajah Villageです。息子二人と山羊を飼っています。この農民の説明では、周りの農民は皆な土地を売るなどして遠隔地に移住してしまい、本人も何度も、転居を誘われたそうです。嫌がらせ行為も多いと言います。しかし、目下、彼は動じていません。（写真、その2）この農家の土地で、オリーブの苗木を植える作業をしました。オリーブの樹は、彼らの日常生活に欠かせません。（このパレスチナでのオリーブ植樹支援にも、日本Yの全国から寄せられた寄付が役立っています。）

隣接するイスラエル入植地に、時々イスラエル警察のジープが巡回して来ます。撮そうとしましたが制止されました。何時、カメラを没収されるかもしれないから、との忠告です。そこでは「正義と平和」が脅かされている実態を目撃しました。彼らパレスチナ人の発言の中に、盛んに公平さが損なわれている “Injustice”（不正義）という言葉を目にしました。彼らの“平和”が脅かされている状況を実感しました。

この農家への案内役をしてくれた男性は、1948年の新生イスラエルの誕生の結果派生した前述のDheisheh 難民キャンプで生まれました。キャンプができてすでに76年。その男性も中年世代と見受けました。現在居住するキャンプを、喜んで案内してくれました。キャンプと言っても、テント生活でなく、パレスチナの難民のためにつくられた大きな村です。3階、4階建てのコンクリート製の家に密集して生活しています。そこに日本の援助で建てられた医療センターがありました。“日本政府からの支援”と書いてあります。

（写真、その3）また、この部落の入り口に多くの若者の写真が貼られていました。1987年始まったインテイクファダ（イスラエル対するパレスチナ民衆の蜂起）の折、イスラエル兵の銃弾で命を落としたパレスチナの若者の写真でした。（写真、その4）

東エルサレムYMCAの活動の最初は、ヨルダン川に近いエリコ(Jericho)の町で始められました。エリコは世界最古の町です。

現在、アラブ・パレスチナの若者対象の職業訓練センターが活動しています。彼らの失業率は20%に達しています。現地のニーズにあったよい活動をしています。ここで日本のODA援助で建てられた新しい訓練センターの建物を見ました。（写真、その5）このような場所で、日本のODA支援が生かされていることを知り誇らしく思いました。日本のYからの国際協力募金も、この訓練学校支援に生かされています。

国連安全保障理事会は、昨年12月、イスラエルのパレスチナ入植を非難する決議を採択しています。それでも、イスラエル政府は、東エルサレムや、パレスチナ占領地への入植政策を続けています。

米国のオバマ政権は、イスラエル、パレスチナ両方に比較的公平な立場採ってきました。私が、イスラエルを出発する前日の12月29日、アメリカのケリー国務長官が、「アメリカが今まで示してきたイスラエル、パレスチナ両国共存の解決策が、今や危機に瀕している」と声明を出しました。BBC ニュースです。最近、トランプ次期大統領が、イスラエル寄りの発言、行動を繰り返しているためです。トランプ大統領は、就任と共に、アメリカは大使館をテルアビブからエルサレムに移す、と発言しています。

このような動きは、当然すべてのアラブ諸国、そして、EU諸国を刺激し、反発を招きます。エルサレムは、三大宗教の発祥の聖地であり、各国の大使館は、今までそれを避けて、テルアビブに集中しています。これから世界の動きに注目する必要があります。

今回のツアーは、一般の観光旅行と異なるYMCAらしい問題意識をもったツアー(Alternative Tourism)でした。日本であまり意識していない「正義と平和」について改めて考える機会となりました。

World YMCAは、今年もこのツアーを企画しています。是非参加されることをお勧めします。

（次頁に写真）

1月第2例会報告

と き：1月25日(水) 18:30~20:30
 ところ：大阪YMCA会館4F
 出席者：石津、大村、中村茂、藤井、藤原、何、三浦の各メン

〈ワイス活動〉

- ・2/4(土)~5(日) 第2回東西日本区交流会 (東山荘)
- ・2/11(土) なかのしまクラブ20周年記念例会 (ホテルグランヴィア大阪)

〈クラブ活動〉

- ・3月例会 卓話「日本と台湾の映画の架け橋」 (川瀬 健一・東洋思想研究所主幹)
- ・4月例会 卓話「世界を旅してー世界各国事情」(仮) (エリキ・ヒエタラフティ氏)
- ・5月例会 卓話「世界YMCA同盟主催 "イスラエルへの旅"に参加して」(仮) 谷川 寛メン(予定)
 (第2例会議事録より抜粋)

YMCAニュース

*「いじめのない世界をめざそう」

YMCAピンクシャッター2017

昨年に引き続き、全国YMCAと共にピンクシャッター(PINK SHIRT DAY)2017を実施いたします。2月22日(水)当日に向けて、YMCA各拠点にて、ピンク色のアイテムを身に着けたり飾ったりすることでいじめ撲滅をアピールしていきます。

世界的な「いじめ」撲滅運動に連なることで、意識的かつ継続的に「いじめ」の問題に取り組み、同時に社会に対して「いじめ」撲滅に対するアピールを行い、地域社会と協働してより広く、推進力のある運動にしていくことを呼びかける機会といたします。

ピンクシャッター…2017年2月22日(水) ※取り組み

- 期間…2017年1月~3月4日(土)
- 詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<http://www.osakaymca-action.org/Events/pink-shirt-day/index.html>

Facebook:

<https://www.facebook.com/ympinkshirtday/>

*第286回 早天祈禱会

日時…2017年2月17日(金)7:30~8:30

証し…加藤明宏さん(プール学院 法人事務局長)

場所…大阪YMCA会館10階チャペル

*聴覚障がい青少年国際キャンプチャリティ寄席

日時…2017年2月25日(土)14:00~16:00

場所…大阪YMCA会館10階101号室

出演者…桂吉弥

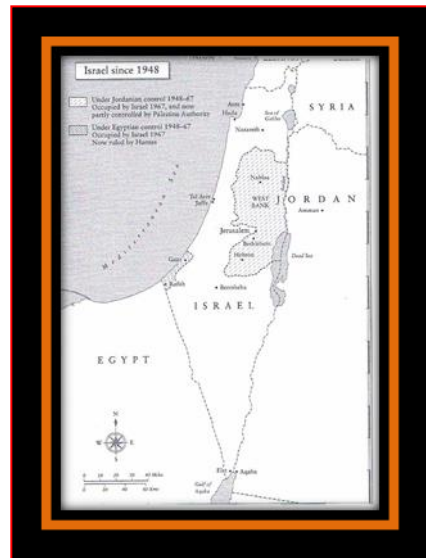
協力費…2,000円(協力費に一部が聴覚障がい青少年国際キャンプの支援金に充てられます。)

その他…未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ…大阪YMCA本部事務局 田宮

(Tel: 06-6441-0894)

船戸 輝久



イスラエルの地図 (その1)



パレスチナ農民の家 (その2)



日本の援助で建てられた医療センター (その3)



銃弾で命を落とした若者たち (その4)



日本の援助で建てられた職業訓練センター (その5)